

第 章 都市空間デザイン指針

- 1 . 3 つの景^{けい}のデザイン指針

1 . 出 ^{であい} 会 ^{けい} の景	-----	7
2 . 木 ^{こだち} 立 ^{けい} の景	-----	11
3 . 水 ^{みずべ} 辺 ^{けい} の景	-----	14

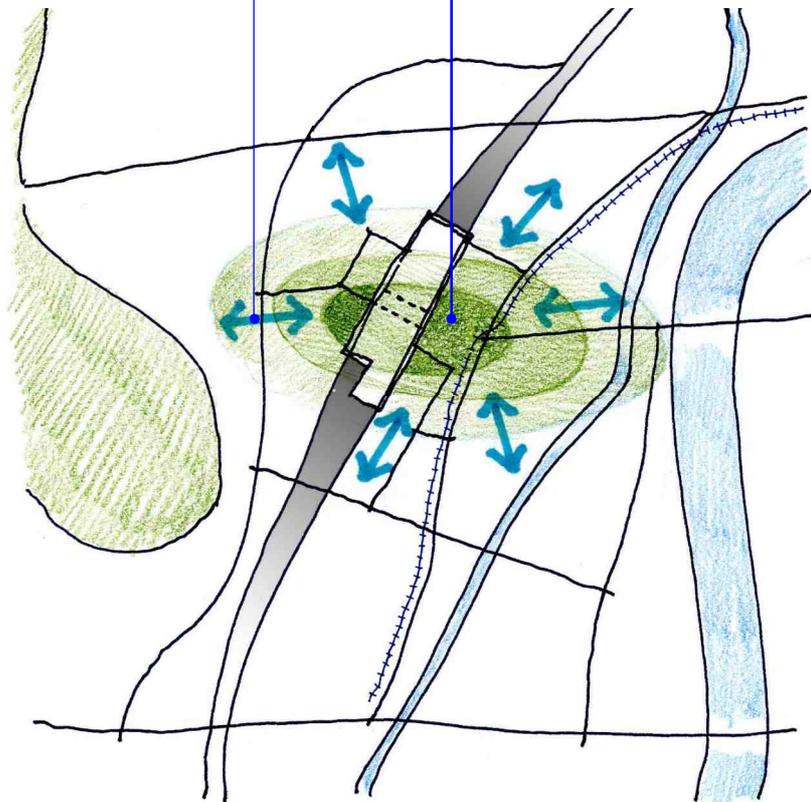
出会いの景について、都市空間デザインのコンセプトを示します。

(1) コンセプト

熊本の玄関口として、広域交通結節点の駅を中心に緑と賑わいに包まれた快適でわかりやすい空間を形成します。

様々な施設にアクセスしやすい空間構成

緑とにぎわいに包まれた快適な空間



わかりやすさ

「駅」としての機能性と共に東の水辺広場や西の山々へ導く明快な方向性、そして周辺施設へのわかりやすい動線を確保します。

にぎわい

広場と沿道の民有空間が一体となり、出会いとにぎわいを演出・創造します。

居心地の良さ

出会いの景の中にたたずみ・留まることが心地よく感じられる空間を確保します。

熊本らしさ

周辺の山並み、水辺のうるおいなど周辺環境と一体となって熊本らしい地勢・自然が感じられる空間を形成します。

豊かな緑

公園のようなまとまりの感じられる、緑の空間を形成します。

安心

昼も夜も利用者の安全と安心を確保します。

出会の景の空間について、はじめに部分と全体の関係性を示します。

(2) 空間の考え方

空間の連続性を大切にする

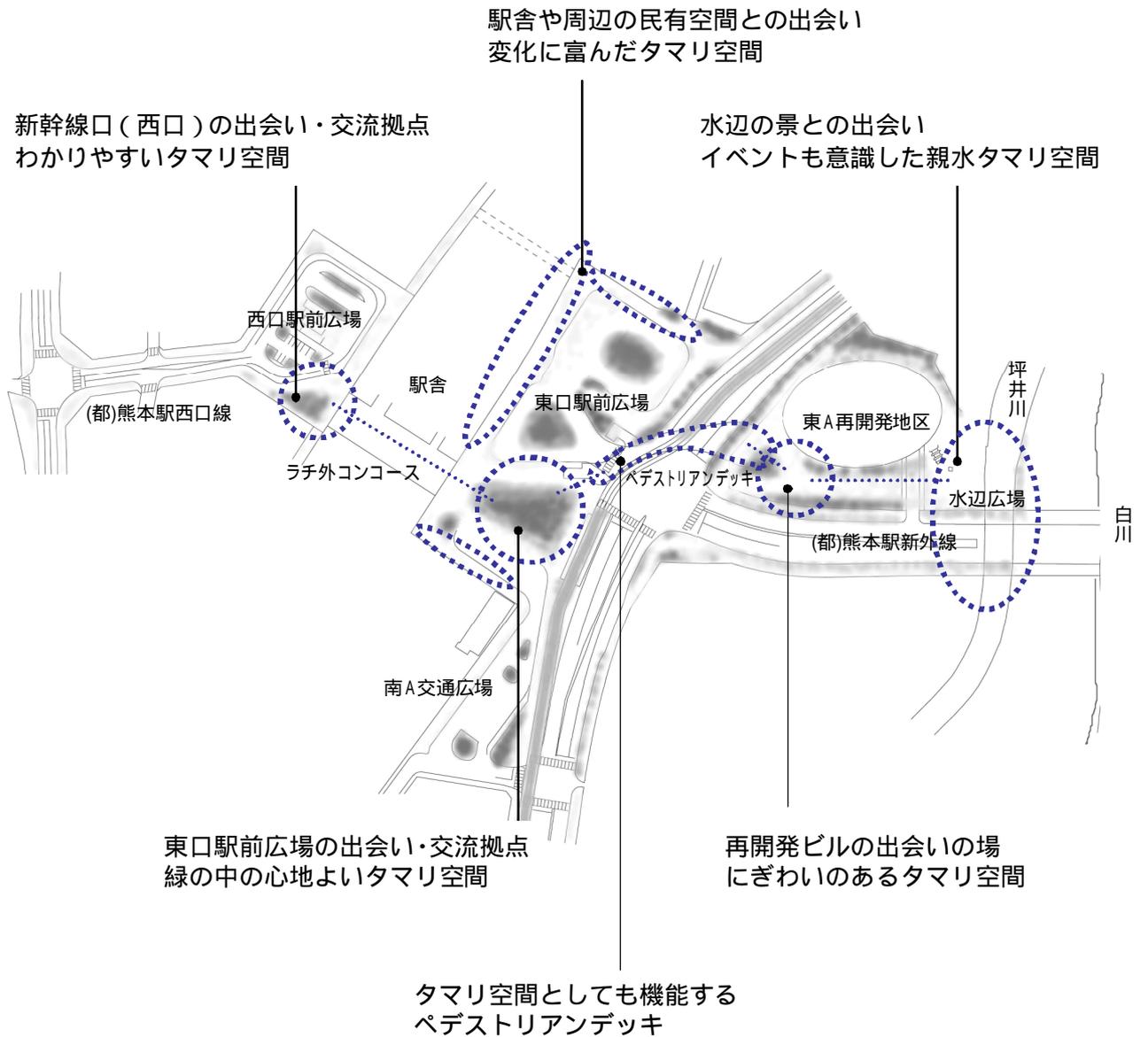
熊本駅西口線～西口駅前広場～東口駅前広場～東A・B地区～水辺広場までを、ひとまとまりの「緑と出会いと交流の公園(パーク)」と捉え、緑とにぎわいを連続的に展開します。



出会の景の重要な要素、主要な広場（タマリ）空間のあり方を示します。

タマリ空間を大切にする

出会の場には、にぎわいとるおいの交流拠点となるタマリの空間を配置します。



- ・ タマリ空間は煩雑・華美にならない熊本らしい施設配置とします。
- ・ タマリ空間には、積極的に熊本の水を楽しむ施設を配置します。

出会の景の、人の動きに対応した空間のあり方について示します。

誰にも優しい熊本ホスピタリティを大切にする

すべての交通機関の相互乗換えがしやすい「駅の優しさ」を確保します。
 周辺の様々な施設へ誘う「わかりやすさ」を確保します。



- ・人の自然な流れを大切にし、動きの分岐点には移動の手がかりとなるサインを配置します。